

学校施設・設備の整備事業（電子黒板・デジタル教科書・北中改築）

アナ： 「市長が語る 2016 三島」第 20 回の今日は、「学校施設・設備の整備事業（電子黒板・デジタル教科書・北中改築）」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくをお願いします。

市長： よろしくをお願いします。

アナ： 昨年度三島市では、県内で初めて、市内 14 小学校の特別支援学級を含む全ての学級に電子黒板とデジタル教科書を整備したそうですね。電子黒板とデジタル教科書とは、どのようなものでしょうか。

市長： 三島市で整備した電子黒板は、電子化された様々な教材用の映像を大きく表示することができる 60 インチの大型モニターです。大きく表示できるだけでなく、タッチパネル式になっておりますので、その画面上への書き込みや、直接画面に触れてスマートフォンのように直感的に操作ができるなど多くの機能を備えています。三島市では、電子黒板と合わせて書画カメラも整備しました。書画カメラというのは、資料など主に平面の被写体をビデオカメラで撮影して映像信号に変換する装置のことで、この書画カメラと電子黒板を一緒に使うことによって、子ども達の答えや作品を電子黒板に大きく表示したり、保存して比較することもできるようになりました。

デジタル教科書というのは、紙の教科書の内容を電子黒板に大きく表示することができるものです。さらに、音声や動画の再生、また写真や図の拡大機能もあり、子ども達の視覚や聴覚に直接働きかけることができるものです。

アナ： 電子黒板もデジタル教科書も魅力的ですね。電子黒板やデジタル教科書を小学校に整備したことで、以前と比べて授業の様子が変わったのではないのでしょうか。

市長： 電子黒板を導入したことによって、子ども達が顔を上げて授業を受けるようになりました。子ども達の顔を見ることがができますので、先生方は子ども達の表情を見ながら授業を進めることができます。また、教材を提示すると瞬時に資料の共有化を図ることができますので、授業時間が効率的に使えます。さらに、デジタル教科書には豊富な写真や動画が入っていますので、子ども達からも授業がわかりやすくて楽しくなったという声が届いています。

アナ： 今年度は市内 7 中学校の特別支援学級を含む全ての学級に電子黒板とデジタル教科書の整備を予定しているということですが、子ども達の反応が楽しみです。ところで、いつごろから中学校で使えるようになるのでしょうか。

市長： 夏休みを利用して整備しますので、夏休み明けには各教室で電子黒板が使える環境になります。中学校では英語のデジタル教科書も導入しますので、電子黒板の活用と合わせて、英語の授業がどう変わるのかが楽しみです。

電子黒板やデジタル教科書をどんどん使ってもらって、三島の将来を担う大切な子ども達の学力向上に結びついてくれることを願っています。

アナ： 続いて、「北中学校改築工事」について伺います。改築工事を実施する理由について教えていただけますか。

市長： 北中学校の南校舎は昭和32年度に建築され、老朽化が進んでいます。この老朽化の状況を評価するため耐力度調査を実施しましたところ、国の基準を下回っていることがわかりました。このため、生徒たちが、安全な校舎で安心して学校生活を送ることができるよう、改築を行うこととしました。

アナ： 生徒たちが安心して学校生活を送るための大切な改築工事ということですね。新しくなる南校舎にはどのような特徴があるのでしょうか。

市長： 新南校舎の特徴ですが、4階建てで全生徒の教室が入る教室棟となります。教室に多くの窓を設置することで自然光を取り入れ、通風しを良くすることができますようにしており、外周の壁には断熱性に優れた素材を採用するなど、教室で生徒たちが快適に授業を受けられる環境について最大限配慮した造りとなっております。

アナ： なるほど。新南校舎の完成が待ち遠しいところですね。新南校舎完成までのスケジュールについて教えていただけますか。

市長： 工事は7月末にすでに始まっております。まず、現在使っている南校舎の南側グラウンドに2階建ての仮設校舎を建築します。それと並行して北校舎の一部を改修し、それぞれに現南校舎の教室等を移動させます。その後、校舎を解体撤去して改築工事に着手します。新南校舎の供用開始は平成30年4月を予定しております。

工事の実施期間中につきましては、できる限り周辺環境への配慮に努めてまいりますので、生徒・保護者ならびに近隣にお住まいの皆さまには、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。